



平成 16 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 朝 日 イ ン テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 田 尚 彦
(コード番号 :)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 竹 内 謙 氏
(TEL. 052-768-1211)

平成 16 年 6 月 期 の 業 績 見 通 し に つ い て

平成 16 年 6 月 期 (平成 15 年 7 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日) における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

【連結通期】

(単位：百万円・%)

項 目 \ 決 算 期	平成 16 年 6 月 期 (計 画)			平成 15 年 6 月 期 (実 績)	
		構 成 比	前 年 比		構 成 比
売 上 高	6,277	100.0	114.2	5,498	100.0
経 常 利 益	946	15.1	133.8	707	12.9
当 期 純 利 益	605	9.6	166.2	364	6.6
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	96 円 43 銭			203 円 08 銭	

【単体通期】

(単位：百万円・%)

項 目 \ 決 算 期	平成 16 年 6 月 期 (計 画)			平成 15 年 6 月 期 (実 績)	
		構 成 比	前 年 比		構 成 比
売 上 高	6,490	100.0	113.7	5,706	100.0
経 常 利 益	635	9.8	144.0	441	7.7
当 期 純 利 益	376	5.8	183.4	205	3.6
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	60 円 00 銭			114 円 53 銭	
1 株 当 た り 配 当 金	20 円			50 円	

- (注) 1 . 平成 15 年 6 月 期 の 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 は 期 中 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す 。 ま た 、 当 社 の 上 場 予 定 日 が 平 成 16 年 7 月 1 日 で あ る こ と か ら 、 平 成 16 年 6 月 期 の 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 は 株 式 分 割 後 の 6,276,300 株 に よ り 算 出 し て お り ま す 。
- 2 . 平成 16 年 3 月 22 日 付 け を も っ て 、 株 式 1 株 に つ き 3 株 の 株 式 分 割 を 行 っ て お り ま す 。

ご 注 意 : こ の 文 章 は 一 般 に 公 表 す る た め の 記 者 発 表 文 で あ り 、 投 資 勧 誘 を 目 的 に 作 成 さ れ た も の で は あ り ま せ ん 。 投 資 を 行 な う に 際 し て は 、 必 ず 当 社 が 作 成 す る 「 新 株 式 発 行 並 び に 株 式 売 出 届 出 目 論 見 書 (並 び に 訂 正 事 項 分) 」 を ご 覧 いた だ いた 上 で 、 投 資 家 ご 自 身 の 判 断 で 行 な う よう お 願 い いた し ま す 。

【平成16年6月期業績見通しの前提条件】

1. 連結通期

(a) 売上高

売上増加の主な要因は、メディカル事業につきましては、既存製品としては平成16年6月期の下期から米国での販売が本格化するPTCAガイドワイヤーが増加する見通しであり、新規製品としてはペリフェラルガイドワイヤー及び貫通カテーテル「トルナス」などの製品を見込んでおります。

インダストリアルデバイス事業につきましては、ロープでは新たに韓国企業向けのワイヤーロープやホース補強材の増産分、ビニールハウス用ロープの復活受注分などのほか、国内企業向けの液晶製造設備用ロープの受注を見込んでおります。

メディカルデバイス事業につきましては、「ACTONE」含むコイル関連製品の受注増加に加え、製品ラインナップの充実により外資系大手医療企業向けのIVRガイドワイヤーが伸びるほか、国内大手企業向けのOEM製品が他社製品から当社製品への切り替え分が寄与するなどの要因を見込んでおります。

この結果、当期の売上高は6,277百万円と、前期比14.2%増となる見通しであります。

(b) 売上総利益

子会社への生産移管を進めるなど原価低減に努め、売上総利益率は52.5%と前期比2.8ポイントの改善を見込んでおります。この結果、当期の売上総利益については3,293百万円となり、前期比20.4%増となる見通しであります。

(c) 販売費及び一般管理費

海外及び国内におけるインターベンション学会への参加費や展示会の出展費用、製品取扱説明ビデオの制作費用や、米国における「Medical Design & Manufacturing Show（医療器具部材展示会）」への出展費用や米国の専門誌への広告掲載費用などを見込んでおります。人件費につきましては、海外販売の拡大に対応した営業及び研究開発部門、法務部門、薬事関連部門の強化に伴う増加分を見込んでおります。また、管理費の増加分としては、海外販売の拡大に伴う特許・法務及び薬事関連費用及び研究開発関連費用、グループ統合情報システム構築に伴う減価償却費などを見込んでおります。

(d) 営業利益

前期比41.6%増の、1,113百万円を見込んでおります。

2. 通期

連結通期と同様の前提条件で業績予想を作成しております。

以上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行なうに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。